
命刈

加川千宏

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

命刈

【Nコード】

N5840A

【作者名】

加川千宏

【あらすじ】

俺は「死神」。今日も俺は人間の魂を天国へと運ぶ仕事に駆り出された。今日の相手は 同年代の少女。1週間後に死ぬ相手。俺はひよんな事からこいちの願いを叶えてやる事にして …。

第1話：出会い（前書き）

私は趣味で書いただけの小説です。既に「小説」と呼んで良いのか
どうかも怪しい程です；

それでも良いのなら、是非最後までお付き合い下さい！

第1話：出会い

俺は“死神”。

お前も知っているだろう？

命を刈り天国に送り届ける役目が有る、“死神”。

“神”なんて字が付いているが、現実はそのようなモノじゃねー。

人の死様を何回も何回も目の当たりにするなんざ、気持ちいい訳ねー。

ある日、少女に出会った。

少女は心臓の病気を抱えてて、後一週間の命だった。

少女はその時息絶え絶えで、詰まりながら俺に言った。

「…あなた…。死神さん…？」

いきなり自分の病室に俺が現れたってーのに、驚きもせず、あっけらかんとそいつは訊いた。

【…ああ。お前の命を刈りに来た】

「…そう…。良か…た…」

はあ！？今良かったって言ったか！！！？？

…初めて見たな、『死にたい』って言った奴は。大抵命乞いする奴ばっかだ。

【…お前もしかして、死にたいのか？】

そいつは弱々しくだが、はっきりとうなづいた。

「…だって、生きてても…良い事なんか…無い…から…」

【…お前、いつから病気なんだ？】

「…もう…小さい時…から…」

…成る程な。それなら、外で遊んだ事もねー訳か。

【…一つだけ、願い叶えてやる】

…俺何言っただろ。

確かにこいつは可哀想だが、俺がなんかしてやる事ないので…。

「…ほんとう…？」

【ああ】

「…嬉しい…！」

それが俺が初めて見た笑顔だった。

俺もつられて少しだけ笑ってしまった。

【…で、お前の願いは？】

「…あ…。その前に…あなたのお名前…教えて…くれる…？」

変な事訊く奴だな。俺には…

【…俺には…。 “名前” なんざありゃあしねー】

「…え…」

絶句する少女。

…まあ、人間にとってはおかしい事だな。名前ない奴なんか、俺も聞いた事がねーからなあ。

「…じゃあ…、…私が…付けて…あげる………」

はあ！！！？

お前また俺を驚かせたな！？

んな事言った奴は、一人も居なかった。その前に、死神の名前なんざ訊いた奴すら居なかったなあ…。

【…俺の名前、だと？】

「…うん…。…だって、名前…ないなんて…寂しい…から…」

今度は俺が絶句する番だった。

まさかこいつがそんな事言い出すとはな…。

【…どんな名前付けてくれるんだ？】

すうとそいつの目が細くなった。

「…そう…ね…。…あなたは…銀色の…髪だから…」

そう、こいつの言う通り、俺は腰まである銀髪を適当に紐でくくっている。ちなみに、瞳は海のような深い青。

【…だから？】

そいつは人指し指を立てた。

「シル…は？」

…この上なくストレートな提案名だな…。 “シルバー” でシルとは…。
だが…

【…悪くないな】

「え…！…良いの…！？」

そいつは却下されると思っていたのか、驚いた。

【ああ】

「…良かった…。…あなたにも…、名前が…出来て…」

…どこまでも変わった奴だ。死神に名前付けて、安心するとはな…。

「…あ…。言って…なかったね…。私の…名前は…」

【言わなくていい。お前の名前なら知っている。ハント・キバーサ
だろ？】

「うん…。…当たり…」

言い終わると同時、そいつ　ハントは気を失いベッドに倒れ伏した。
…付き合わせすぎたようだな、ハントは病気なんだった。

それが俺とそいつの出会いだった。

それから俺は、毎日ハントに会いに行った。

会った一日目には聞き損なった、ハントの “願い” も二日目に聞けた。

「…私…。空を…飛びたいの…」

空を飛ぶそのものは、難しい事ではない。…だが、一つだけ問題がある。

“外に出る”って事は、“命を削り取る”以外のなにものでもない。俺は詳しい事は知らねーが、気圧の変化とか身体を圧迫する空気の量とか、病室とは全然違うんだろ。

そう俺が訊くと、

「良いの…。もし…空の上で…死ぬの…なら…本望…だよ…」
…今まで、本当に何にもなかったんだな…。

【…何で空の上で良いんだ？】

「空って…澄みきって…いる…でしょ…？私も…空みたいに…澄んだ…健康な身体で…生まれ…たかった…」

…ハントは自分の気持ちに気付いてないんだな。

本当の願いは、最後の一言に込められてんだよな…。

病気を抱えていない身体で、太陽の下で友達と思い切り外で遊んで木陰でのんびりと読書して。

身体の事を気にせず、好きな物を好きなだけ食べて。

皆と机並べて、学校で授業受けて。

そんな他愛のない、普通な事をやりたいと願う…。

本当はそんな願い事を秘めているのに、口に出して言えない…。

…だったら俺が、

せめて“空を翔ける”願いを叶えてやる…！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5840a/>

命刈

2010年10月10日01時22分発行